

第 67 年会 特別公開シンポジウム (産業界シンポジウム)

主催 日本分析化学会産業界シンポジウム企画運営会議、第 67 年会実行委員会
9 月 14 日 (金) 午前 A 会場

1. 産業界シンポジウム：AI, MI 時代への期待と課題

オーガナイザー：宮野 博・味の素(株), 鈴木 真由美・富士フィルム(株)

AI、ビッグデータ時代が本格化し、デジタルトランスフォーメーションの必要性が叫ばれ、IoT やマテリアルズ・インフォマティクス (MI) などの導入が進んでいる。現国内先進企業の取組み事例の紹介等から、今後の活用、展開、課題について議論する。

座長 鈴木真由美

1. (9:00-10:00) データ駆動的アプローチに基づく分析化学への展開
(産総研人工知能研究セ) 永田賢二
2. (10:00-10:30) 化学産業と MI
(旭化成研開本部) 河野禎市郎

座長 加藤雄一

3. (10:30-11:00)ヘルスケア分野における分析データへの AI 活用 (島津基盤技研) 梶原茂樹
4. (11:00-11:30)アミノ酸との相互作用マッピング(AAM)記述子に基づいたヒット/リード化合物の骨格改変法の開発 (富士フィルム解析技セ) 津村享佑
5. (11:30-12:00)機械学習を応用した金属合金の特徴量抽出および材料特性との相関モデル化
(日立エレクトロニクスイノベーションセンタ) 谷本明佳